

温室効果ガス排出状況報告書(1)

1 地球温暖化対策事業者等の概要

(1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあっては名称及び代表者又は 管理者の氏名)	オリンパス株式会社 高林 裕 (技術開発センター宇津木事業場長)
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在 地)	東京都八王子市久保山町2丁目3番地

(2) 事業所の概要

事業所の名称		技術開発センター宇津木		
事業所の所在地		東京都八王子市久保山町2丁目3番地		
業種等	事業の 業種	分類番号	F31 F:製造業 ▼ 精密機械器具製造業 ▼	
		産業分類名	精密機械器具製造業	
	事業所 の種類	主たる用途	部門分類	<input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務
				<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設
			<input checked="" type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設	
		<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設		
		<input type="radio"/> その他 ()		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		研究開発		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1)	テナント事業者等の 名称	
		(2)	テナント事業者等の 名称	
		(3)	テナント事業者等の 名称	
敷地面積		40,677	m ²	
建物の延べ面積		25,292	m ²	

(3) 担当部署

計画の 担当部署	名称	八王子総務部設備環境G	
	連絡先	電話番号	042-642-2157 (ダイヤルイン)
		ファクシミリ番号	042-646-2429
		電子メールアドレス	no_nakano@ot.olympus.co.jp
公表の 担当部署	名称	八王子総務部設備環境G	
	連絡先	電話番号	042-642-2157 (ダイヤルイン)
		ファクシミリ番号	042-646-2429
		電子メールアドレス	no_nakano@ot.olympus.co.jp

(4) 排出状況報告書の公表方法

公表期間	平成18年7月30日 ~ 平成19年6月30日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: http://www.olympus.co.jp/jp/corc/environment/
	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所: 所在地: 閲覧可能時間:
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名: 入手方法:
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 前年度の温室効果ガスの総排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
4,005						4,005

(2) 総基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの総排出量の推移

(単位:t(二酸化炭素換算))

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	3,810	4,005	/	/	/	/
基準排出量 比増減率		-5%	/	/	/	/

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進捗状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

(前年度: 17 年度)

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
3,972						3,972

イ 前年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	157.0	kg/m ² ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	3,630	MJ/m ² ・年

ウ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	3,774	3,972	/	/	/	/
基準排出量 比増減率		-5%	/	/	/	/

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進捗状況

対策分類ごとの措置の進捗状況(実施の有無)	基本対策	<input checked="" type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input checked="" type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input checked="" type="radio"/> すべて完了	<input checked="" type="radio"/> 一部完了	<input type="radio"/> 未実施	<input type="radio"/> 計画なし

目標対策による削減実績	実績削減量(目標対策分)	32 t-CO ₂
	実績削減率(目標対策分)	1% 削減
	目標対策の達成度	32%

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の進ちょく状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 前年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO ₂	CH ₄	N ₂ O	HFC	PFC	SF ₆	合計
33						33

イ 基準排出量及び前年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	36	33				
基準排出量 比増減率		8%				

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の進ちょく状況

排出の抑制に係る措置の進ちょく状況	<input checked="" type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
-------------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進ちょく状況等についての総括等

平成17年度については、CO₂実績が4,005CO₂-tと基準排出量3,810CO₂-tに対して195CO₂-tの増加となった。平成16年度の実績3,997CO₂-tに対しても+8CO₂-tと微増した。
 主な理由として、平成16年度に対して電気使用量については研究開発業務の増加により+61CO₂-tとなり、都市ガス使用量については、空調時間の1時間削減等により42CO₂-tとなった。

(当年度以降の取組方針)

今後については、照明器具のインバーター導入、省エネベルト導入、設備の運用改善を実施する。特にクリーンルームの運転方法の改善を計画しており、CO₂発生量の大幅削減を目指していく

その4

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置のスケジュール及び進捗状況(個表)													
対策No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対策レベル	前年度末における実施状況	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					計画時の削減効果見込量(t)	進捗状況		延期理由及び今後の実施予定時期又は取りやめの理由	備考
				第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度		対策完了による削減効果の量(t)	計画達成度(%)		
1	電力計測システム導入による電力使用の有効活用	目標対策	実施	完了 実施					31	27	86%		
2	冷凍機の出口温度管理	基本対策(運用)			実施				7				
3	蒸気バルブの断熱強化	基本対策			完了				4				
4	個別空調のコンプレッサー間欠運転仕様変更	基本対策			完了				2				
5	空調運用時間の1時間短縮	基本対策(運用)	完了	実施 完了					5	12	262%		
6	外気導入量の適正管理	基本対策(運用)			実施				11				
7	省エネVベルトへ更新	基本対策			完了				2				
8	照明機器のインバーター化(第1期)	目標対策			完了				12				
9	照明機器のインバーター化(第2期)	目標対策			完了				18				
10	照明機器のインバーター化(第3期)	目標対策				完了			13				
11	省エネ自動販売機の導入	目標対策	着手	着手 着手		完了			11	5	50%		
12	建物東面・南面・西面の窓ガラスに日射調整フィルムの貼付け	目標対策			完了				15				
13	ボイラーの空気比管理	基本対策(運用)			実施				6				
14	温湿度の管理	基本対策(運用)			実施				12				
15	ポンプのインバーター化	基本対策					完了		6				
実績削減量及び計画達成度									44	28%	計画削減量(t)	156	
うち実績削減量(目標対策分)及び目標対策の達成度									32	32%	目標削減量(t)	100	

14 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置のスケジュール

対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、 建物の名称も記載すること。)	対策 レベル	完了(予定) 年 度	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					削減効果の見 込量(t)	進ちょく状況		延期理由及び今後の実施予定 時期又は取りやめの理由	備考
				第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度		対策完了に よる削減効果 の量(t)	計 画 達成度 (%)		
1	電力計測システム導入による電力使用の有効活用		17	完了					31				
2	冷凍機の出口温度管理		18		実施				7.4				
3	蒸気バルブの断熱強化		18		完了				4.2				
4	個別空調のコンプレッサー間欠運転仕様変更		19			完了			2.1				
5	空調運用時間の1時間短縮		17	実施					4.7				
6	外気導入量の適正管理		18		実施				11.2				
7	省エネVベルトへ更新		18		完了				2.3				
8	照明機器のインバーター化(第1期)		18		完了				12.1				Hf照明
9	照明機器のインバーター化(第2期)		19			完了			18.3				Hf照明
10	照明機器のインバーター化(第3期)		20				完了		13.3				Hf照明
11	省エネ自動販売機の導入		20	着手			完了		10.5				
12	建物東面・南面・西面の窓ガラスに日射調整フィルムの貼付け		19			完了			15				
13	ボイラーの空気比管理		18		実施				6.1				
14	温湿度の管理		18		実施				11.6				
15	ポンプのインバーター化		21					完了	6.1				
												計画削減量(t)	155.9
												目標削減量(t)	100.2

8 計画書提出以降に追加した工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置のスケジュール及び進ちょく状況(個表)

対策No	対策の区分		対策の名称	対策レベル	追加年度	前年度末における実施状況	スケジュール(上段:計画、下段:実績)					計画時の削減効果見込量(t)	進ちょく状況		備考	
	区分番号	区分名称					第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度		対策完了による削減効果の量(t)	計画達成度(%)	根拠資料	対策レベルの修正
1	<input checked="" type="checkbox"/>	ウォーミング運転管理	E館グリーンルーム管理方法(運転方法)の改善	基本対策(運)	18	<input checked="" type="checkbox"/>	実施					365			添付書類 120303	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/>					<input checked="" type="checkbox"/>									添付書類	<input checked="" type="checkbox"/>

実績削減量及び計画達成度	365			指針に掲げる「基本対策」を「目標対策」とした場合にチェックする。
うち実績削減量(目標対策分)及び目標対策の達成度				

10 地球温暖化の対策の推進体制等に関する事項

(1) 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

八王子事業場環境方針

オリンパス環境理念に基づき、八王子事業場は、一人ひとりの行動が環境に影響を与えることを自覚し、「始めよう、人にやさしい、環境にやさしい、モノ創り」をスローガンに、オリンパスグループの源流事業場として新製品開発や生産技術の開発および関連するすべての環境管理活動を推進します。また、大都市化する八王子にあって、率先して自然を守り、環境と調和する企業を目指し、以下の方針を設定します。

1. 環境影響評価と法的側面を考慮して環境目的及び目標を設定し、実現のための計画化と実施展開を技術的・経済的に可能な範囲で行います。また、定期的な監査や見直しを行い、継続的に環境管理システムを改善します。
2. 環境関連の法規制及び業界等の行動規範、地域協定等を遵守するとともに自主規準を設定し、より一層の環境改善を図ります。
3. 事業活動及び製品・サービスが環境に与える影響を的確に把握し、汚染の予防と環境負荷の削減を実施します。
 - 3.1 機械・設備・空調などの合理的運用や改善によるCO2排出削減
 - 3.2 資源の有効活用と廃棄物ゼロエミッションへの挑戦
 - 3.3 有害物質の代替物質への転換により排除
4. 環境方針達成のため、この方針を事業場で働く又は事業場のために働く全ての人に周知・徹底するとともに、取引先及び地域社会との協調連帯を図ります。

(2) 地球温暖化の対策の推進体制

オリンパス技術開発センター石川・宇津木合同組織

経営層（担当役員）

事業場長（環境管理責任者・地球温暖化対策統括マネジャー）

テクニカルアドバイザー
環境管理事務局

環境管理委員会（全事業場の本部・部署・関連会社を11の部門に分けて、部門責任者による委員会）

環境管理推進委員会（11部門の実務者による委員会。各部門2～5名）

各部門の推進委員会（本部・部・関連会社等毎に委員を選出し運営）

(3) 地球温暖化の対策の推進体制 (詳細)

ア 地球温暖化対策統括マネージャー

氏名		高林 裕	
部署名		研究開発センター宇津木事業場長	
連絡先	電話番号	042 - 691 - 7112	
	ファクシミリ番号	042 - 691 - 7508	
	電子メールアドレス	y_takabayashi@ot.olympus.co.jp	
地球温暖化対策管理者講習会修了番号			受講日

イ 地球温暖化対策テクニカルアドバイザー

- 地球温暖化対策テクニカルアドバイザーを**事業所内部で選任**している。
- 地球温暖化対策テクニカルアドバイザーを**外部委託で選任**している。

氏名		長南 国夫	
部署名・会社名等		オリンパス(株)八王子総務部設備環境G	
連絡先	電話番号	042 - 691 - 7242	
	ファクシミリ番号	042 - 691 - 7508	
	電子メールアドレス	k_chounan@ot.olympus.co.jp	
資格要件の名称		エネルギー管理士	取得年月日 平成13年 4月1日
地球温暖化対策管理者講習会修了番号		05070194	受講日 平成17年10月7日

(地球温暖化対策テクニカルアドバイザーを都の登録事業者へ外部委託した場合のみ、次の欄にも記入すること。)

都登録番号		登録日 (更新日)	
-------	--	--------------	--

ウ 主なテナント事業者等の推進員等(テナントビル等の場合に記載)

地球温暖化対策の担当部署	テナント事業者等の名称		
	推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)		
	部署名		
	連絡先	電話番号	
ファクシミリ番号			
地球温暖化対策の担当部署	テナント事業者等の名称		
	推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)		
	部署名		
	連絡先	電話番号	
ファクシミリ番号			
地球温暖化対策の担当部署	テナント事業者等の名称		
	推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)		
	部署名		
	連絡先	電話番号	
ファクシミリ番号			

テナント事業者等の名称			
推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)			
地球温暖化対策の担当部署	部署名		
	連絡先	電話番号	
		ファクシミリ番号	
テナント事業者等の名称			
推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)			
地球温暖化対策の担当部署	部署名		
	連絡先	電話番号	
		ファクシミリ番号	
テナント事業者等の名称			
推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)			
地球温暖化対策の担当部署	部署名		
	連絡先	電話番号	
		ファクシミリ番号	
テナント事業者等の名称			
推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)			
地球温暖化対策の担当部署	部署名		
	連絡先	電話番号	
		ファクシミリ番号	
テナント事業者等の名称			
推進員等の氏名(法人にあっては代表者又は管理者の氏名)			
地球温暖化対策の担当部署	部署名		
	連絡先	電話番号	
		ファクシミリ番号	

11 添付する書類

温室効果ガス排出量集計結果(前年度分)	別紙(添その3)のとおり
燃料、熱及び電気の使用実績(月別)(前年度分)	別紙(添その4-3)のとおり
削減量の根拠資料	別紙(4頁)のとおり
テナント事業者等における削減対策に係る資料	別紙()のとおり
その他()	別紙()のとおり

備考 印の欄には、報告書に添付する各別紙に一連番号を付けた上、該当する別紙の番号を記入すること。